

作物の種類		こんにゃく		442	1次必須項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位									調査方法等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9
1	草型	区	観察				立		半立		水平			地上部生育最大期の草型
2	葉身長／葉柄長	10個体	測定	* (小数第3位を四捨五入)									地上部生育最大期における葉身と葉柄の長さの比	
3	葉柄の小突起	区	観察	無									有	地上部生育最大期における葉柄の小突起の有無
4	葉柄の白斑	区	観察	無			少	やや少	中	やや多	多			地上部生育最大期における葉柄の白斑の有無
5	葉柄斑紋の分布	区	観察	無					点在				連続	地上部生育最大期における葉柄斑紋の分布
6	球茎の形	10個体	測定	* (小数第3位を四捨五入)									収穫期における球茎の高さと横径の比	
7	生子の形	区	観察		球	棒	へら							収穫期における生子の形
8	生子の離層	区	観察	無									有	収穫期における離層の有無
9	開葉期	区	観察	年月日									全個体の40～50%が開葉した日	
10	成熟期	区	観察	年月日									葉が黄変し、葉柄が萎凋して全個体の80～90%が倒伏した日	

作物の種類		こんにゃく		442		1次選択項目								
項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位									調査方法等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9
1	生子表面の条溝	10個体	観察				少		中		多			収穫期における条溝の数の多少
2	生子の皮色	10個体	観察				淡褐	やや淡褐	褐	やや濃褐	濃褐			収穫期における色
3	主芽のほう色	10個体	観察		淡紅	紅	緑紫紅							植付時における色
4	小葉の形	10個体	観察				円葉		中間		長葉			葉身基部と先端のほぼ中間点に着生した小葉の地上部生育最大期における形
5	小葉の大きさ	10個体	観察				小		中		大			地上部生育最大期における大きさ
6	小葉の色	10個体	観察		黄緑		淡緑		緑		濃緑		暗緑	地上部生育最大期における色
7	小葉の数	10個体	観察				少	やや少	中	やや多	多			地上部生育最大期における数
8	葉柄の地色	10個体	観察				淡緑		淡紅		紅			地上部生育最大期における色
9	葉柄斑紋の大きさ	10個体	観察				小		中		大			地上部生育最大期における大きさ
10	葉柄斑紋の色	10個体	観察				淡	やや淡	中	やや濃	濃			地上部生育最大期における色
11	球茎表面の条溝	10個体	観察				少	やや少	中	やや多	多			収穫期における条溝の数
12	球茎表皮の色	10個体	観察				淡褐	やや淡褐	中	やや濃褐	濃褐			収穫期における色
13	吸枝こんの分布	10個体	観察				分散	やや分散	中間	やや集中	集中			収穫期における分布型
14	吸枝こんの隆起	10個体	観察	無									有	収穫期における隆起の有無
15	芽つぼの深さ	10個体	観察				浅	やや浅	中	やや深	深			収穫期における深さ 3：支那種, 5：在来種
16	出芽期	区	観察	年月日									植付け個数の約50%が出芽した日	

作物の種類		こんにゃく		442	2次必須項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位									調 査 方 法 等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9
1	耐障害性（日焼）	区	観察				弱	やや弱	中	やや強	強			強い日射による葉の障害程度の多少から判定する抵抗性の強弱 弱：在来種 強：支那種
2	根腐病抵抗性	区	観察				弱	やや弱	中	やや強	強			生育中（8月上～中旬）の発病株率，収穫期の罹病球率と発病度から判定する抵抗性の強弱 弱：在来種，中：支那種
3	葉枯病抵抗性	区	観察				弱	やや弱	中	やや強	強			生育中（8月上～中旬）の発病株率と発病度から判定する抵抗性の強弱 弱：在来種,はるなくろ,中：支那種,あかぎおおたま
4	腐敗病抵抗性	区	観察				弱	やや弱	中	やや強	強			生育中（9月上～中旬）の発病株率と収穫期の罹病球率から判定する抵抗性の強弱 弱：支那種，中：在来種
5	乾腐病抵抗性	区	観察				弱	やや弱	中	やや強	強			収穫期球茎の発病度(発病度は根腐病に準じる)から判定する抵抗性の強弱 弱：在来種，中：はるなくろ
6	モザイク病抵抗性	区	観察				弱		中		強			開葉期の葉の発病度

作物の種類		こんにゃく		442	2次選択項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位										調 査 方 法 等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	ネコブセンチュウ抵抗性	区	観察				弱	やや弱	中	やや強	強			収穫期における球茎への寄生程度,寄生度= $\frac{\sum(\text{階級値} \times \text{同個体数})}{(\text{調査個体数} \times 4)} \times 100$,階級値は根こぶ着生面積により区分する 0:健全,1:1~5%,2:6~20%,3:21~40%,4:41%以上
2	ネグサレセンチュウ抵抗性	区	観察				弱	やや弱	中	やや強	強			生育中（8月下旬～9月上旬）の被害株率により区分する

作物の種類		こんにゃく		442	3次必須項目									
項目 番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位										調 査 方 法 等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	球茎重	区	測定	kg/a (小数第2位を四捨五入)										球茎重を a 当たりで表わしたもの
2	肥大倍率	区	測定	倍 (小数第3位を四捨五入)										植付種球重に対する収穫した球茎重量の割合
3	荒粉歩留	10個体	測定	% (小数第2位を四捨五入)										収穫直後の生芋に対する荒粉の割合 (荒粉重は含水率14%換算)
4	精粉歩留	10個体	測定	% (小数第2位を四捨五入)										精粉重 / 荒粉重 × 100 (含水率14%換算)
5	精粉粘度	10個体	測定	% (小数第3位を四捨五入)										B M型粘度計による粘度 (1%精粉溶液の粘度指数)
6	精粉の粒子組成	10個体	測定	% (小数第2位を四捨五入)										精粉の大粒 (0.25mm以上) の割合